

議題（１）

他館のコンセプト事例及びコンセプトに即した機能事例
（説明資料）

呉市海事歴史科学館 大和ミュージアム



巨大戦艦「大和」が残したメッセージ

開館時間

9:00~18:00

- 展示室入館は17:30まで
- ライブラリー / 9:00~17:00

休館日

火曜日

- 火曜日が祝日の場合は翌日休館
- 4月29日~5月5日、7月21日~8月31日、12月29日~1月3日は無休

観覧料

- 一般……………500円
- 高校生……………300円
- 小・中学生……………200円

- 団体 (20名以上)
 - 一般 400円
 - 高校生 200円
 - 小・中学生 100円

歴史を未来へ

戦艦「大和」を建造した東洋一の軍港、日本一の海軍工廠のまちとして栄えた呉。戦後は、戦前から培われてきた技術が新しい技術と結びつき、世界最大のタンカーを数多く建造するなど、日本が戦後約10年ほどで世界一の造船国へ発展する一翼を担いました。その後、有数の臨海工業都市として発展し、地域の産業発展のみならず、日本の近代化に大きく貢献しました。「呉の歴史」はまさしく、明治以降の日本の近代化の歴史そのものなのです。呉市海事歴史科学館「大和ミュージアム」は、「呉の歴史」と、その近代化の礎となった造船・製鋼を始めとした各種の「科学技術」を、先人の努力や当時の生活・文化に触れながら紹介します。また、日本の歴史と平和の大切さを認識していただくとともに、科学技術創造立国を目指す日本の将来を担う子どもたちに科学技術のすばらしさを理解していただき、未来に夢と希望を抱いていただくことのできる「呉らしい博物館」とすることにより、地域の教育、文化及び観光等に大きく寄与することを目的とします。



- J R / JR広島駅からJR呉線 快速約32分 JR呉駅から徒歩 約5分
- 自家用車 / 広島方面から広島呉道路(クアライン)約20分 呉ICから約5分
 - ・山陽自動車道(広島東JCT)から広島高速—広島呉道路 約30分 呉ICから約5分
 - ・山陽自動車道(高屋JCT)から東広島・呉自動車道 約40分
 - ・大和ミュージアム駐車場・65台(1時間100円)
 - ・大和ミュージアム立体駐車場・220台(1時間100円)
- バ ス / 広島バスセンターからJR呉駅前まで約46分 JR呉駅から徒歩約5分
 - ・広島空港からJR呉駅前まで約60分 JR呉駅から徒歩約5分
- フェリー / 呉中央桟橋から徒歩 約1分



展望テラス

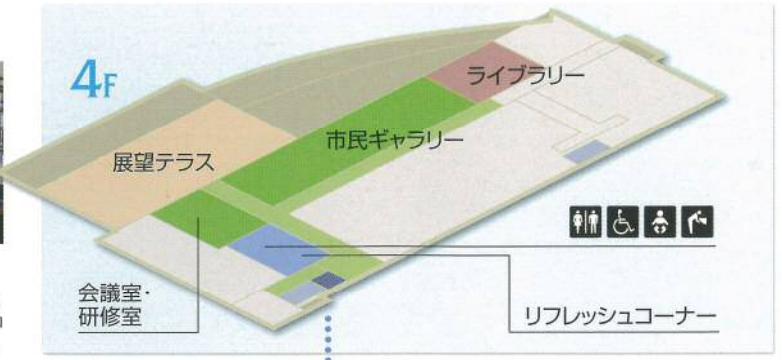
かつて戦艦「大和」を建造したドック跡や呉湾を行き交うフェリーなどを一望できます。

4F



ライブラリー

船や歴史に関する資料を見ることができるほか、写真や図面、1F展示室の解説映像などをパソコンのデータベース検索により見ることができます。



C 「船をつくる技術」展示室

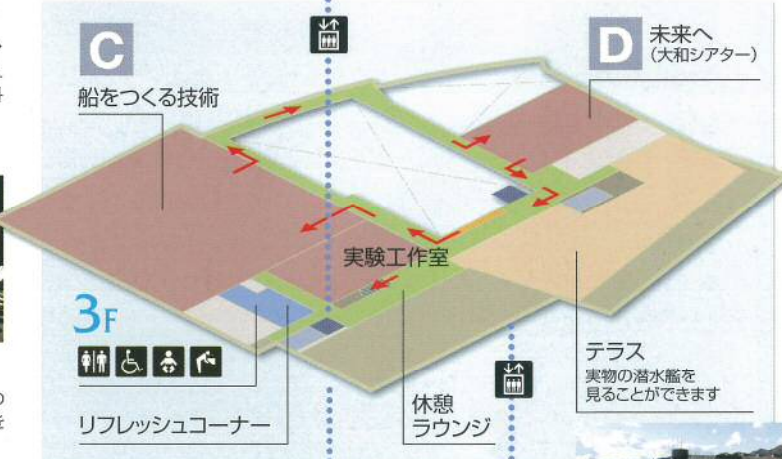
船を中心とした科学技術の原理を体験・体感を通してわかりやすく紹介します。操船シミュレーターのほか、波の性質を学べる実験水槽、科学の不思議を体験するなど楽しく学べます。



D 「未来へ」展示室

地球や宇宙に関する科学技術のこれから、名誉館長による未来へのメッセージを紹介します。大和シアターでは、戦艦「大和」に関する映像などを上映(上映プログラムは更新されます)。

3F



B 大型資料展示室

零式艦上戦闘機や人間魚雷「回天」、九三式魚雷などの貴重な実物資料を展示しています。



零式艦上戦闘機六二型



特殊潜航艇「海龍」(後期量産型)



A 「呉の歴史」展示室

明治22(1889)年に呉鎮守府、明治36(1903)年に呉海軍工廠が設置されてから、東洋一の軍港として栄えた呉。史上最大最強の戦艦「大和」の建造計画からその技術、大和の辿った運命、沖縄特攻へ出撃した乗組員の遺書や遺品も展示。戦時下の市民生活や呉空襲の様子、戦後、平和産業港湾都市として復興し、世界的な造船のまちとして現在に至るまでの呉の歴史を、パネルと現存する資料で紹介しています。

大和ひろば

全長26.3メートルもある10分の1戦艦「大和」は、設計図や写真、潜水調査水中映像などをもとに、可能な限り詳細に再現。大和ミュージアムのシンボルとして平和の大切さと科学技術のすばらしさを後世に語り継いでいます。



ミュージアムショップやまと

大和関連のおみやげがいっぱい



1F



入船山記念館 〒737-0028 呉市幸町4番6号
TEL0823-21-1037 <http://www.irifuneyama.com>
大和ミュージアムから徒歩10分

入船山公園内には、国指定重要文化財「旧呉鎮守府司令官官舎」を中心に旧呉海軍工廠塔時計・旧東郷家住宅離れ・郷土館・歴史民俗資料館(近世文書館)などが点在し、近代日本黎明期を感じることのできる呉の街の中でもシンボルとして欠かせない場所になっています。



旧呉鎮守府司令官官舎



旧東郷家住宅離れ



洋館部の室内(金唐紙)

趣旨

呉市は、明治22年に呉鎮守府、明治36年には呉海軍工廠が設置され、戦前においては、戦艦「大和」を建造した東洋一の軍港、日本一の海軍工廠のまちとして栄え、また、戦後においては、戦前から培われてきた技術が新しい技術と結びつき、世界最大のタンカーを数多く建造するなど、我が国が戦後約10年ほどで世界一の造船国へ発展する一翼を担い、有数の臨海工業都市として発展し、地域の産業発展のみならず、日本の近代化に大きく貢献してきました。

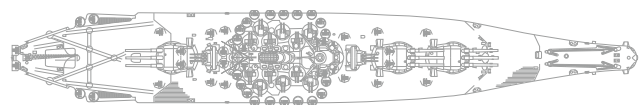
呉市海事歴史科学館(愛称:大和ミュージアム)は、明治以降の日本の近代化の歴史そのものである「呉の歴史」と、その近代化の礎となった造船、製鋼を始めとした各種の「科学技術」を、先人の努力や当時の生活・文化に触れながら紹介し、我が国の歴史と平和の大切さを深く認識していただくとともに、科学技術創造立国を目指す日本の将来を担う子ども達に科学技術のすばらしさを理解していただき、未来に夢と希望を抱いていただくことのできる「呉らしい博物館」とすることにより、地域の教育、文化及び観光等に大きく寄与することを目的とします。

施設概要

所在地: 広島県呉市宝町5番20号
敷地面積: 17,400 m²
建築面積: 4,817 m²
延べ床面積: 9,628 m²
構造・規模: SRC造一部S造,RC造・地上4階建

各室: 4階	ライブラリー	111.04m ²
	市民ギャラリー	471.90m ²
	会議室・研修室	114.55m ²
	学芸課事務室	59.06m ²
	資料室1・2、書庫	607.02m ²
	その他	729.34m ²
	3階	「船をつくる技術」展示室
	大和シアター	248.17m ²
	実験工作室	118.20m ²
	その他	930.02m ²
2階	展望デッキ	128.72m ²
	映写室	28.37m ²
	運営グループ事務室	113.74m ²
	その他	754.45m ²
	1階	エントランス
	ガイダンスルーム	50.05m ²
	大和ひろば	731.27m ²
	「呉の歴史」展示室	841.72m ²
	大型資料展示室	573.30m ²
	大和ホール(前室含む)	366.79m ²
	その他	1,275.62m ²

駐車場 大和ミュージアム駐車場
(普通車65台, 思いやり駐車場2台, マイクロバス5台)
大和ミュージアム立体駐車場
(普通車220台, 思いやり駐車場1台, 1階にバス乗降場)



主な展示物等

展示資料: 約1,500点 / 収集済み博物館資料: 220,825点(平成26年3月末 現在)



零式艦上戦闘機六三型



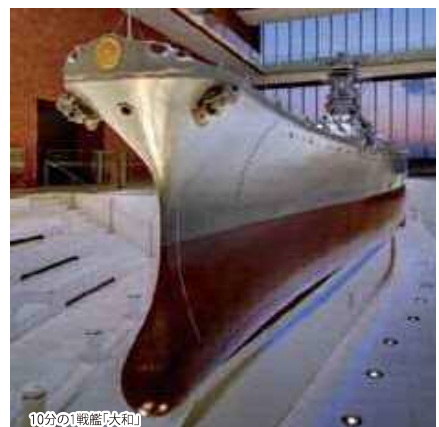
ヤマト式ボイラー



特殊潜航艇「海龍」後期量産型



探照灯



10分の1戦艦「大和」



戦艦「長門」軍艦旗



呉鎮守府の標札



第一号艦(大和)後部艦橋構造



戦艦「陸奥」主砲台

呉の歴史と大和ミュージアム

1889年 明治22年7月1日	呉鎮守府開庁
1902年 明治35年10月1日	呉市誕生
1937年 昭和12年11月4日	戦艦「大和」起工
1940年 昭和15年8月8日	戦艦「大和」進水
1941年 昭和16年12月8日	太平洋戦争開戦(真珠湾攻撃)
1941年 昭和16年12月16日	戦艦「大和」竣工
1945年 昭和20年4月7日	戦艦「大和」沈没
1945年 昭和20年8月15日	太平洋戦争終戦
1950年 昭和25年6月28日	旧軍港市転換法施行
1980年 昭和55～60年度	県立博物館の設置を県に要望
1990年 平成2～3年度	博物館基本構想策定
1991年 平成3～6年度	博物館資料調査収集業務
1995年 平成7年度	海事博物館設立構想策定
1996年 平成8年度	海事博物館推進室設置「収蔵展示施設」オープン
1997年 平成9年度	「呉市海事博物館(仮)基本計画」策定
1998年 平成10年度	「呉市海事博物館(仮)展示計画」策定
2000年 平成12年度	基本設計
2001年 平成13年度	実施設計
2002年 平成14年度～	建築工事
2003年 平成15年度～	展示制作
2003年 平成15年4月1日	平成の大合併①(下蒲刈町編入)
2003年 平成15年8月26日	名称と愛称を発表
2004年 平成16年4月1日	平成の大合併②(川尻町編入)
2004年 平成16年11月～	ボランティア募集開始
2005年 平成17年1月28日	「大和ミュージアム友の会」設立
2005年 平成17年3月20日	平成の大合併③(6町を編入)
2005年 平成17年3月26日	YAC「呉やまと分団」結団
2005年 平成17年4月23日	大和ミュージアム 開館
2005年 平成17年11月5日	100万人目の来館者(177日目)
2008年 平成20～23年度	指定管理者制度[第1期]
2011年 平成23年3月5日	開館5周年記念シンポジウム 「瀬戸内歴史海道構想」
2012年 平成24～28年度	指定管理者制度[第2期]
2014年 平成26年4月24日	900万人目の来館者
2015年 平成27年4月23日	開館10周年
2015年 平成27年5月24日	1000万人目の来館者
2015年 平成27年8月29日	開館10周年記念シンポジウム 「終戦70年を語り継ぐ」
2015年 平成27年9月21日	戦艦ミズーリ記念館姉妹館協定締結
2016年 平成28年5月29日	1100万人目の来館者

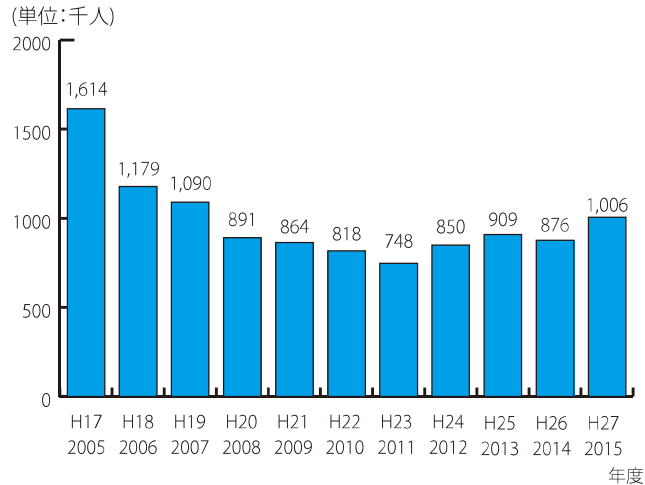
来館動向

来館者数

開館以来の来館者累計

11,555,655人

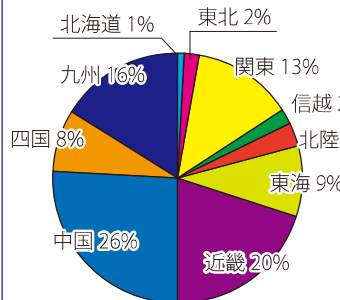
(～平成28年11月末)



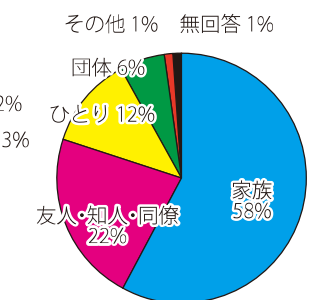
来館者分析

※来館者アンケートより

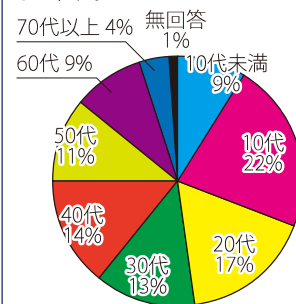
◎ どちらから?



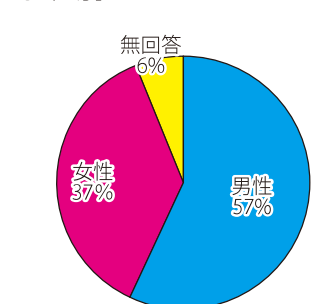
◎ どなたと?



◎ 年代は?



◎ 性別は?



◎ リピーターは?

